



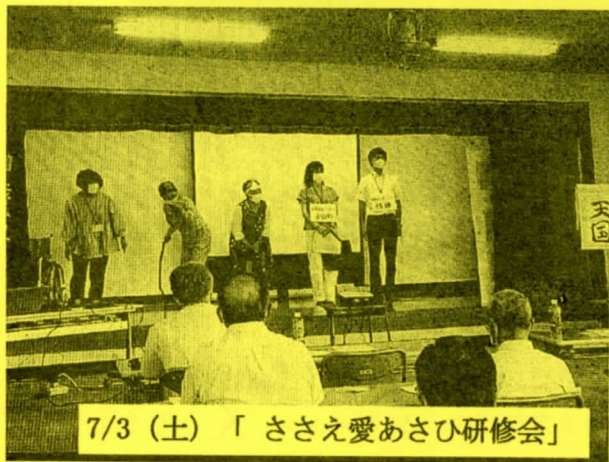
隣近所、支え合い住んで良かった朝陽地区！

発行 朝陽地区社会福祉協議会
共催 朝陽地区住民自治協議会
社会福祉部会
長野市大字北尾張部226-9

あさひの福祉の今

コロナ禍ですが、福祉事業は休むわけにはいきません。今年度より「買い物お助けマン事業」がリニューアル、各区の協力員体制が整いました。買い物支援希望者も増加中です。

また、ささえ愛あさひでは、研修会を開催し、各区の担当者がWITHコロナの時代により必要となる地域活動について学びました。



7/3 (土) 「ささえ愛あさひ研修会」

ささえ愛あさひ研修会は、7月3日(土)に支所二階にて43名が参加しました。コロナ禍の暮らしを振り返るコーナーでは、地域の活動が出来ない、子どもに会えない、飲み会が出来ないなど、人とのコミュニケーションの大切さを学びました。「コロナ禍でもつながろう」の寸劇も楽しみました
また、各区事例発表も行われ工夫して活動されている内容は大変参考になりました。

コロナ禍でも福祉事業は継続中

現在 朝陽地区の第2次地域福祉計画(平成29年～令和3年)に沿って、福祉活動を行っています。同時に第3次地域福祉計画作成の作業部会を立上げ、準備を進めております。

第三次地域福祉活動の方針

朝陽地区 社会福祉部会長 古川晴雄

令和4年度から令和8年度までの向こう5年間に亘る、第三次地域福祉活動計画の策定方針(概略)は以下のとおりです。

まず、第二次で掲げた「支え合い安心のまちづくり」という理念を継承、発展させていくことにしています。これが第一の方針です

次に今日地域で発生している福祉課題について多角的に検討を進めます。

これにより、新たに取り組む福祉課題が設定された場合、その課題に対する解決あるいは緩和を試みることにいたします。

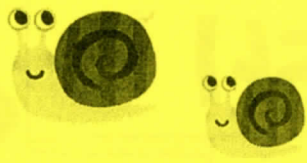
大切なことは、地域福祉の主体は地域住民等であるということです。多様な主体により、福祉課題に取り組める体制づくりが極めて重要です。これが第二の方針です。

第三次の理念として、みんなで支え合い・助け合う暮らしづくり=まちづくりを柱において、策定作業を進めてまいります。

ご理解・ご協力をお願いいたします。



まちの縁側
居場所づくり



ゆったり、のんびり
お話ししましょう

しゃべい場 でんでん(北堀) OPEN

朝陽地区の新しい居場所の紹介です。
9月からスタートしました。

しゃべい場 でんでん
毎月 第1、第3火曜日
午前10時～



お抹茶のお点前を楽しむ。

ひとりでも、お友達とでも
おしゃべりの場としてご活用下さい
お抹茶(100円)を飲みながらゆっ
たりとした時間をお楽しみください。

- *バリアフリー車椅子用トイレあり
- *勧誘や営業活動にはつかえません
- *話された秘密は守ります
- *コロナの感染状況により変更になるかも
知れません
- *駐車スペースはありません



北堀・自動車学校教習コース南側
木製ベンチ、パラソルのある家

地域たすけあい事業 協力員大募集

福祉移送

高齢・障害などで公共交通機関を利用できない方をご自宅から医療機関まで送迎をお願いします。(講習の受講が必要です。費用当方負担) スケジュール・運行管理は助け合い事業コーディネータが行います。協力員には、活動回数に応じて協力費が支払われます(1回/1時間 500円)



掃除・洗濯・ゴミ出し・お話相手等、高齢や障害のお持ちの方の生活の困りごとをサポートします。(コーディネータが業務調整します) 協力員には、活動回数に応じて協力費が支払われます(1回/1時間 500円)

家事援助

長野市内全地区で実施されている「地域たすけあい事業」をご存じですか?ひとり暮らしの高齢者や障害のある方などの「ふだん」の「くらし」の「しあわせ」を地域の皆さんの力をお借りして支える仕組みです。朝陽地区の多くの皆様のお力をおかりしたく協力員の募集をします。年齢や経験は問いません。シニア世代も活躍されてます。

「やってみようかな」と思ったら...まずはお問い合わせを

朝陽福祉コーナー 241-3162

